

3月7日のウクライナ情報

安齋育郎

●ドイツのユーチューブの広告(2023年3月3日)

ドイツの YouTube で動画を視聴するとき、ゼレンスキーが主役のターゲット広告が再生されます。 ※安齋注:日本では「名誉棄損」か何かになるかなあ？

「私たちはこの豚に餌をやるのにうんざりしています - ナックルを調理する時が来ました!」

<https://twitter.com/i/status/1631661526443765760>



※ナックル:日本では「しんたま」と呼ばれる部位で、きめが細かいですが比較的硬い肉質のため、スライス提供する調理に適しています。しんしん、カメノコ、マルカワに三分割して焼肉やローストビーフなどに活用することもできます。

●ウクライナの真実 パート26(再送・字幕付き、2023年3月4日)

欧州、アメリカ政府は依然ウクライナ援助を続けていますが、市民は少しずつ「ウクライナの真実」に気が付き始めました。

- ゼレンスキーの独裁、非民主主義、市民弾圧、野党弾圧、汚職、腐敗、虐殺、ナチ



<https://youtu.be/b2uCJtcDBBU>

●ホントかなあ？夜中に兵士に鶏の足を食わせる勅令？(2023年3月4日)

ゼレンスキーは、戦場での積極性を高めるため、夜中の 12 時以降に鶏の足を食べさせることを勅令で命じた。



●アメリカの警察(3023年2月20日)

人権はどうした？警察は市民を家畜のように扱い、そのように無条件に従うことを要求しているのです。

<https://twitter.com/i/status/1627371401358475265>



●オーストラリア人の自問(2023年3月4日)

米国の友人たちは、シーモア・ハーシュが「作戦筋」の言葉を引用して報じたように、ノルドストリーム・ガスパイプラインを妨害(ブラック・オプス)したのでしょうか？オーストラリアの主要メディアはなぜこの話を無視するのでしょうか...あるいは、少なくともハーシュの事実を確認しようとするのでしょうか？ -

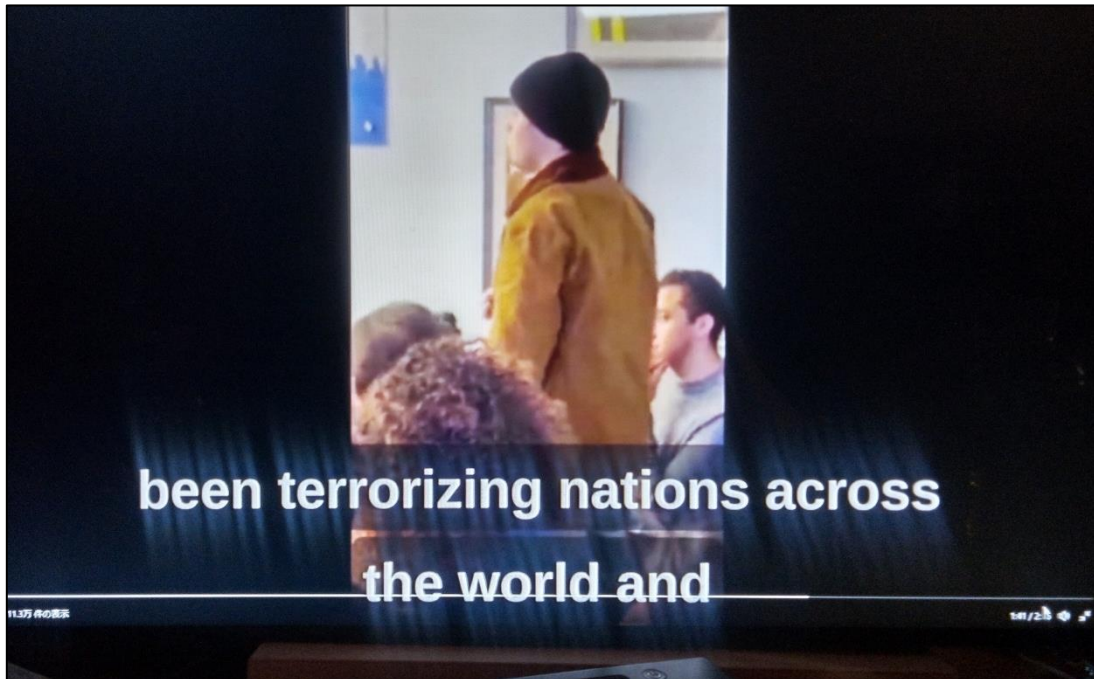
※ブラック・オプス=援護も助けも無い秘密の任務



●立ち上がったアメリカの青年(2023年3月4日)

シーモア・ハーシュがノルドストリーム破壊工作にアメリカが関与していることを暴露した報告書について、政治家に質問するために立ち上がった、立派なアメリカの青年がそこにいるのです。

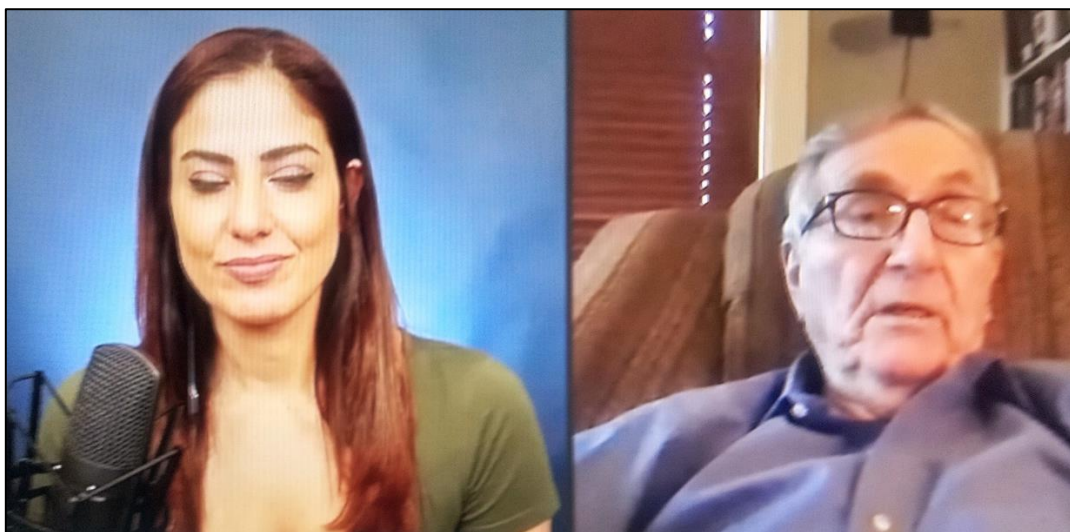
<https://twitter.com/i/status/1631839225997041664>



●ノルドストリーム爆破はドイツに対する戦争行為だ(2023年3月3日)

受賞歴のある調査ジャーナリスト、シーモア・ハーシュは、Dispatches の Rania Khalek と共に、バイデン政権が CIA、米国海軍ダイバー、NATO 加盟国ノルウェーの協力を得て、遠隔操作による爆発物を使用してノルド・ストリーム・パイプラインを破壊したという最新の爆弾発言について語りました。つまり、アメリカはヨーロッパの最も重要な同盟国の重要なエネルギーインフラを狙ったということだ。これは、本質的にドイツに対する戦争行為を客観的に構成する、主権の重大な侵害である。しかし、ドイツは見て見ぬ振りをしている。

<https://youtu.be/bIDRGHGXn0U>



●ロシアの治安機関は、昨日のRUロシアの村へのUAテロ攻撃のビデオを公開しました (2023年3月3日)

<https://twitter.com/i/status/1631661001778266115>



●CNN がウクライナ軍の膨大な損失を発表(2023年3月4日)

CNNは、ウクライナ参謀本部の情報源を引用して、2023年2月28日現在、ウクライナ軍の損失は、次のとおりであると報じている。

- 259,085 人が死亡、傷病で死亡 - 246,904 人が負傷、廃人、脱走、および行方不明 - 83,952 人 - 。



●スシャニ村村民の証言(2023年3月4日)

ブリャンスク州スシャニ村の住民オレグ(35歳)は、近所の2人の女性と一緒にお茶を飲んでいた時、窓越しに目出し帽をした4人のウの破壊作業員を見た。

テロリストの前には、2人の母親と3人の小さな子供が歩いていた。

オレグは外に出て、テロリストたちに子供たちを傷つけるな、と叫んだ。

※安齋注:これだってずいぶん勇気ある行動ですね。



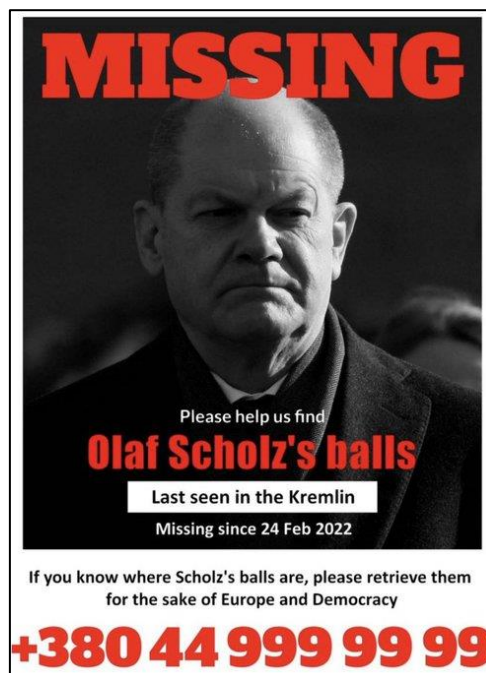
●ショルツの「勇気」はどこへ行った?(2023年3月4日)

「行方不明」

探してください オラフ・ショルツの「勇気」の行方を。

クレムリンの最後の姿、2022年2月24日以降、行方不明です。

ショルツの「勇気」がどこに行ってしまったのか、知っているのであれば欧州と民主主義のために、ぜひ回収してください。



●ジャン・ピエール報道官、「ロシア人民共和国」？(2023年3月4日)

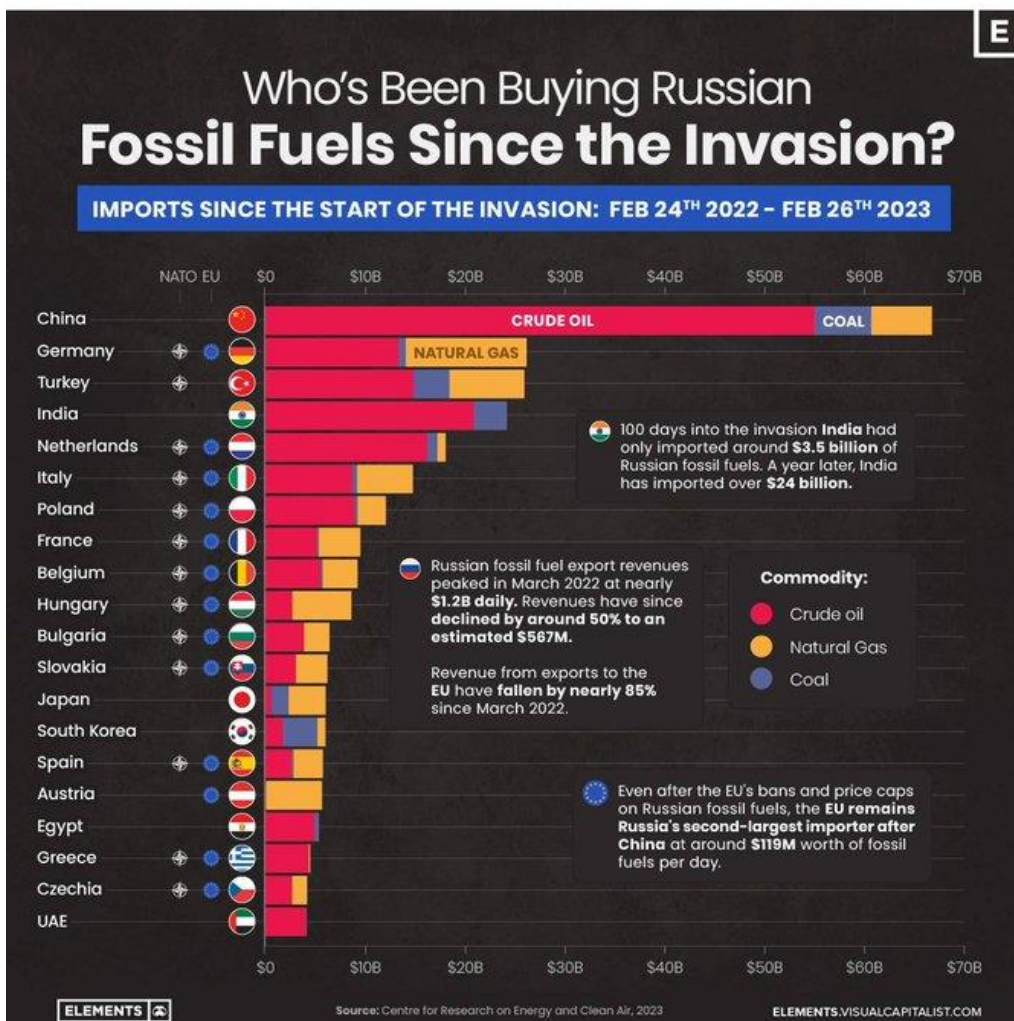
ホワイトハウスのジャン・ピエール報道官、バイデン並みになってきた。

ロシア連邦をロシア人民共和国と言っている。

<https://twitter.com/i/status/1631753047104950272>



●2022年2月24日～2023年2月26日にロシアからエネルギー資源を買っている国(2023年3月4日)



●ウクライナ軍の撤退行動(2023年3月4日)

ウクライナ軍部隊は、アルテムフスク撤退時にインフラ破壊を行なっている。(ウクライナ人いつも必ずやる)。川に架かる鉄道橋を破壊する武装勢力の映像がネットに投稿された。

<https://twitter.com/i/status/1631841650271223811>

※安齋注:撤退時にその場所を破壊するのはウクライナ軍部隊の常套手段。去年の3月にマウリポリの劇場が破壊された際、「ロシア分の爆撃」と報じられたが、実際には劇場の観客を人間の盾として閉じこもっていたアゾフ(極右民族主義集団)がいよいよ現場を放棄するとき内部型爆破したものであった。屋根の貫通孔が「中から外へ向かっていた」事実でロシア軍の爆撃でないことは明白になっている。



●二人の少女を助けたヒーロー(2023年3月4日)

ウクライナの破壊工作員の銃撃で負傷しながら女の子 2 人を救った少年に最前線の兵士達がエールを送った。

「君はテロ攻撃で負傷するも 2 人の少女を助けたと聞いた。君は本物のヒーローだ。一刻も早い回復を祈ると共に、ご両親に感謝する。我々はこちら前線で君をカバーする。勝利は我々のものだ」

<https://twitter.com/i/status/1631845131375738883>



●リトアニア国会議員の反人権的発議(2023年3月4日)

リトアニアの国会議員 Raimundas Lopata 57 歳が、首都ヴィリニウスに展示されている撃破されたロシア戦車に花を置く者を罰することを提案した。

「花を置くことは犯罪行為とみなされるべきである」



●キエフにとってのジレンマ(2023年3月4日)

「キエフにとっての問題は、公的な保証はともかく、ワシントンが直接戦争に参加することに関心がないことだ」。

ジレンマという言葉に尽きる。



●「NATO 軍体制は敗北する(2023年3月4日)」

「NATO 軍体制は敗北する。」これは元国連大量破壊兵器廃棄特別委員会主任査察官を務めたスコット・リッターとイラン核交渉代表団顧問サイド・モハンマド・マランディ教授が分析の末に一致して出した見解である。シーモア・ハーシュ氏による「NATO 軍体制のテロリズム」についての詳細をきわめた報告は、非常に示唆に富む。



●ブリュッセルのデモ行進(2023年3月4日)

”今すぐ停戦! 和平交渉を支援せよ! 核兵器によるエスカレーションを許さない! NATO の拡張を止めろ! 和平交渉を!”

昨日、ブリュッセルの街頭で 1000 人がデスカレーションと和平交渉を要求した。

ヨーロッパの平和運動は黙っちゃいない。

<https://twitter.com/i/status/1630248283280146432>



●No 2 NATO、No 2 War の集会は立ち見のみ(2023年3月4日)

※安齋注:タイトルは「No to NATO, No to War」の意味。英語圏ではしばしば「to」の代わりに「2」が、「for」の代わりに「4」が用いられる。



2/25 にロンドンで開催された「No2Nato 会議」には、溢れんばかりの人々が参加しました。戦争推進派による脅迫キャンペーンが行われ、2つの会場がこのイベントをキャンセルしました。

●ベルリン2.25大集会(2023年2月27日)

左翼党のサハラ・ヴァーゲンクネヒトが率いるベルリンでの2/25の集会では、67万人が署名した平和宣言に賛同するドイツ人が数万人集まった

”ロシアの女性や男性のひ孫に、ドイツの戦車が発砲するのは嫌だ！”

